



南関東地域振興事務局

● 中小企業のための生成AI活用セミナー

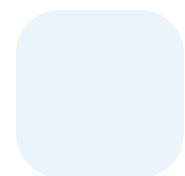
中小企業こそ、 生成AIの主役。

人手不足も、多能工化も、情報共有も。
毎日の仕事を、もっと軽く・もっと良く。

講師 | 南関東地域振興事務局 田中 太郎



生成AIは、**中小企業の味方**です。



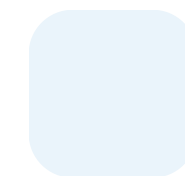
構造的な課題に「ピンポイント」

人手不足・多能工化・情報共有の仕組み不足。中小企業ならではの悩みに、まっすぐ効きます。



5つの現場で、すぐ効く

議事録・顧客対応・マニュアル・提案書・情報収集。今日からの仕事がそのまま対象です。



時間短縮の、その先へ

速くなるだけではありません。品質が上がり、ノウハウが組織の資産として残ります。

- まず、思い込みを手放す

「AIは、
大企業のためのもの」
——その逆こそ、
本当のところ。

リソースに制約があるからこそ、生成AIの恩恵を**最大**に受けられる。それが中小企業です。



3つの「困った」に、まっすぐ効く。



課題 01 ・ 人手不足

**少人数でも、
高い生産性を。**

各種業務を自動化・効率化。限られた人員でも、しっかり成果を出せる体制に。

自動化・効率化で対応する



課題 02 ・ 多能工化

**付帯業務を軽くし、
コア業務へ。**

資料作成や情報収集の負担を肩代わり。一人ひとりが、専門性の高い仕事に集中できます。

付帯業務の負担を軽減する



課題 03 ・ 情報共有の仕組み不足

**属人化を防ぎ、
みんなで共有。**

会議の要約やマニュアルを自動生成。組織のナレッジ共有が、自然と進みます。

ナレッジ共有を促進する

- 国内の中小企業の現場から

5つの活用事例。

1

議事録
作成

都内・建築系

1時間以上 → 約10分

2

顧客
対応

福岡・印刷会社

問い合わせの約3割を
自動化

3

マニュアル
作成

静岡・食品加工

属人化しないナレッジ
蓄積

4

提案書
作成

京都・ITベンチャー

作成時間を1/3に短縮

5

情報
収集

地方・製造業

毎朝10件を自動で要
約・配信



議事録づくりの自動化

都内・建築系中小企業

ChatGPT

Whisper（音声認識）

作成にかかる時間

10分

1時間以上 → 約10分（確認・編集こみ）／月10時間以上の
工数削減

これまで

ベテラン社員が1時間以上かけて作成。会議のたびに大きな負担。



導入後

録音した音声をAIが文字起こし・要約。敬語やビジネス文体への整形まで自動で、品質も向上。

お仕事中！



2

顧客対応の効率化

福岡・印刷会社

ChatGPT連携チャットボット

問い合わせの自動対応

3
割

定型的な問い合わせの約3割が、AIだけで完結

これまで

「テンプレートを変更したい」「最短納期は？」——定型質問の対応に追われ、時間もストレスも。



導入後

社内Q&AデータベースをAIが学習し自動応答。スタッフは専門的な提案業務に集中できるように。



3

マニュアルづくりとナレッジ継承

静岡・食品加工会社

生成AIによるドラフト作成

ベテランの暗黙知が

組織の 資産に

「人に頼らず、ナレッジが残る」体制づくり

これまで

作業のノウハウを文章化するのが難しく、退職とともに失われるリスクも。



導入後

作業を動画・写真で記録すれば、AIがマニュアルの叩き台を自動作成。修正するだけで完成し、作成のハードルが大きく低下。



4

提案書づくりの迅速化

京都・ITベンチャー

過去データ学習型AI

資料の作成時間が

1/3

作成時間を1/3に短縮 → 営業機会の拡大へ

これまで

資料作成に時間がかかり、アプローチできる顧客の数も限られていた。



導入後

過去の成功提案を学習したAIが、業種・ニーズに合わせてドラフトを自動生成。提案の質そのものも向上。



5

情報収集の自動化

地方・製造業

自動収集・要約システム

毎朝、自動で届く

10
件

関連ニュース10件と要約を、毎朝メール配信

これまで

社員が自ら新聞やWebを巡回して情報を探す、非効率な手作業。



導入後

業界ニュースや競合情報をAIが自動で収集・要約。情報共有の効率と精度が、格段に向上。



- 導入で、何が変わるのか

速くなる。良くなる。 そして、残る。

作業時間を、劇的に短縮

議事録は1時間以上から約10分へ。空いた時間を、本来の仕事にあてられます。

業務の品質も、底上げ

文体の統一や校正、業種に合った表現まで。アウトプットの質そのものが上がります。

ノウハウが、組織に残る

属人化しがちな知識を形式知に。人が替わっても、ナレッジは会社の資産として受け継がれます。



● はじめの一步

小さく試して、 大きく育てる。

まずは身近な一つの業務から。

南関東地域振興事務局が、地域の中小企業の生成AI活用を伴走支援します。



南関東地域振興事務局 生成AI活用相談窓口

minamikanto-shinko.jp

